第58回 観光のしおがま写真コンクール

入選作品展

自由写真部門
特選「休 日」佐藤 一之（塩竈市）

〈作品展会場及び期間〉

ふれあいエスプ塩竈　1月25日(火)～1月30日(日)
市民図書館（壱番館4階）2月 8 日(火)～2月20日(日)
アクアコート（イオンタウン塩釜内）2月22日(火)～3月 6 日(日)
鹽竈神社絵馬殿（鹽竈神社境内）3月 8 日(火)～3月27日(日)
マリンゲート塩釜　3月29日(火)～4月14日(木)

※過去の特選作品による回顧展も併せて開催しています。また、各施設の休館日にご注意ください。
※次回の写真コンクール作品募集は、2022年10月頃を予定しています。
※コロナ感染拡大など社会情勢によっては、展示期間などが変更になる場合がございます。ご了承ください。

問／塩竈市観光物産協会
（塩竈市観光交流課内／平日 9:00 ～ 17:00）
TEL 022-364-1165

「第 58 回観光のしおがま写真コンクール」入選作品展

「令和３年度　第 58 回観光のしおがま写真コンクール」には、48 名の方から合計 139 点の応募がありました。令和 4 年 1 月 17 日（月）に審査会が行われ、厳正なる審査の結果、以下の皆様が入賞されました。

今回は、コロナウイルスの影響で外出もままならず、また、行事などの“素材”が激減したにも関わらず、いつものように“様々な塩竈の表情”を切り取った作品が集まり、皆様が市内のあちらこちらで、シャッターチャンスを待ってらっしゃる姿が目に浮かび、コロナ禍でも出品していただいた皆様に本当に感謝いたします。

入選作品をご覧いただき、塩竈の「躍動」と「静寂」の一瞬を感じていただければ幸いです。

今後もさらに充実したコンクールの実施を目指してまいります。塩竈のまつりやイベント、風景だけでなく、まちの人々の表情など、皆様の自由な発想でとらえた「しおがま」が写し出されることを楽しみにしております。

《審査委員長講評》

58 回目となる今回のコンクールにも、県内外様々な方にご応募いただきました。

コロナ禍でイベントが少ないためか、同じ場面の写真が多かったように感じられ、応募者の皆さんが被写体探しに苦労されていたことが伺われます。ただそれが効してか「普段の塩竈」の作品も多く応募され、塩竈の魅力を再認識した審査会となりました。

例年、祭りなどイベント事の作品が入賞することが多いのですが、今回の特選の「休日」は、休みの日に親子がほのぼのと塩竈で釣りをしている日常の一部をとらえた作品です。色のコントラストがきれいで、構図も素晴らしく、親子の雰囲気がよく伝わります。準特選の「時をかけて」は、「よくぞこの場所を見つけた！」と審査員の中で声が上がり、塩竈をよく知らないと撮れない貴重な作品だと思います。また、もう一つの準特選の「まぐろ水揚げ」は、非常にきれいなオレンジの色に審査員全員惹かれました。

入賞された皆様、本当におめでとうございます。また今回は惜しくも入賞がかなわなかった皆様、ぜひ次回も力作をお待ちしております。

自由写真部門

特　選	休　日	佐藤一之
準特選	時をかけて	三浦一泰
準特選	まぐろ水揚げ	日野俊文
入　選	昇　陽	日野俊文
入　選	師走の雪	木村有一
入　選	境内渡御	鈴木泰壽
入　選	漁網のメンテナンス	玉川欣治
入　選	藻塩焼神事	横田　弘
入　選	希望の灯	横田　弘

特別賞

蒲鉾の水野賞	美しき行列	藤島純七
本舗十字屋賞	叶いますように。	水野友碧
鮨しらはた賞	朝日に輝く浦戸	小野寺俊一
ベイウェーブ賞	雅楽の音色に導かれて	原田雅博
えびす屋賞	夏越大祓式	後藤　博
丹六園賞	秋　色	佐藤一之

ジュニア部門

入　選	現　代	水野友碧

レディース部門

入　選	5 時から 14 時	瀧口莉奈

スマートフォン部門

入　選	七五三	窪田海人

※敬称は略させていただきます。漢字や文字表記などに誤りがございましたら御容赦ください。

◆主　催　塩竈市、塩竈市観光物産協会

◆協　賛　志波彦神社・鹽竈神社、塩釜商工会議所、水野水産（株）、（株）本舗十字屋、丹六園、（株）高山
（協）塩釜水産物仲卸市場、みやぎ寿司海道塩竈地域推進協議会、えびす屋釣具店、ベイウェーブ 78.1ＦＭ

◆後　援　（公社）宮城県観光連盟、河北新報社、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局
朝日新聞仙台総局、ベイウェーブ 78.1ＦＭ、ケーブルテレビマリネット

◆問合せ　塩竈市観光物産協会（塩竈市観光交流課内）　電話：022-364-1165（平日 10:00 ～ 16:00）
塩竈市観光物産協会ホームページ　http://kankoubussan.city.shiogama.miyagi.jp